

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額			
					総額	県	市町村	地元
民俗文化財地域伝承活動	広瀬熊野神社御田植保存会	広瀬熊野神社の御田植	県重無民文	後継者養成・記録保存	511	250	13	248
"	小浜長折三匹獅子舞保存会	小浜長折の三匹獅子舞	"	獅子頭・衣装の更新	876	350	87	439
"	白沢村	白岩の太々神楽	"	後継者養成・記録保存	600	300	300	—
"	津島郷土芸術保存会連合会	津島の田植踊り	"	"	800	350	350	100
"	棚倉町	八槻都々古別神社の御田植	"	衣装購入・記録保存	905	450	455	—
"	鈴石神社太々神楽保存会	鈴石の太々神楽	"	衣装等購入・後継者養成・記録保存	815	350	72	393
計					4,507	2,050	1,277	1,180

(5) 銃砲刀剣類の登録状況

美術品もしくは、骨とう品として価値のある古式銃砲や刀剣類の登録を行うため、次のとおり審査会を開催した。

① 登録審査委員

平原松夫、宇井正三、丹治金次郎

② 登録審査会

期日	会場	鑑定数	不揃格数	登録数	左の内訳		審査委員
					刀剣	銃砲	
5月24日	郡山合同庁舎	95	0	95	84	11	平原松夫 丹治金次郎
6月26日	会津若松合同庁舎	81	4	77	73	4	平原松夫 宇井正三
9月26日	郡山合同庁舎	94	4	90	85	5	宇井正三 丹治金次郎
10月23日	いわき合同庁舎	60	4	56	52	4	平原松夫 宇井正三
11月27日	郡山合同庁舎	56	5	51	50	1	平原松夫 宇井正三
1月25日	自治会館	55	11	44	41	3	宇井正三 丹治金次郎
2月25日	郡山合同庁舎	44	5	39	39	0	平原松夫 宇井正三
計		485	33	452	424	28	

2 埋蔵文化財の保護事業

(1) 埋蔵文化財調査体制

県土の開発進展に伴い、遺跡の保護保存に対する県民の関心は高まり、同時に開発側との協議が増加している。その結果、記録保存のための発掘調査体制も、強化が必要となり、(財)福島県文化センター遺跡調査課は逐年定員増を図ってきた。本年度新たに4名増となり、現在文化センター採用職員19名(内嘱託5名)、県教委出向職員11名、計30名である。

〔(財)福島県文化センター遺跡調査課職員数〕

年度	52	53	54	55	56	57	58	59
人員	5名	9名	15名	20名	23名	26名	26名	30名

(2) 開発事業地内遺跡の保護対策

大規模開発事業地内の遺跡の保護は、(イ) 遺跡の所在規模を明らかにする。(ウ) 工事等で遺跡が破壊されないように、起業者側と保護対策を協議する。(事前協議) (ハ) 工事実施上止むを得ず遺跡の現状が失われる場合には、事前に発掘調査を実施して記録保存を行い、報告書を刊行する。(発掘調査) という三段階がとられる。

① 分布調査

開発地内の詳細分布調査を行い、遺跡の保存対策の資料とするもので、表面調査、試掘調査に分けられる。

試掘調査は、国営母畑事業区内43遺跡、国営矢吹事業区内12遺跡、相馬開発事業区内16遺跡、計71遺跡について実施した。

② 開発関係機関との保存協議

前年度からの継続協議を含め、次の諸機関と埋蔵文化財について保存協議を行った。

国営総合農地用開発事業母畑地区・矢吹地区・会津農業水利事業宮川地区、真野ダム地内、国道113号バイパス地内、相馬地区、福島空港、東北横断道及び県内各地の県営ほ場整備・団体営ほ場整備などの関係諸機関

③ 開発に伴う発掘調査

県教育委員会では開発事業に伴う発掘調査を、(財)福島県文化センターに委託して、下記の遺跡について発掘調査を終了した。

母畑地内区荒小路遺跡他4遺跡(7,900㎡)、会津農水宮川地区内下谷ヶ地平C遺跡(3,000㎡)、真野ダム内日向南遺跡他3遺跡(4,000㎡)、国道113号バイパス地内原田遺跡(6,000㎡)、合計20,900㎡。

また、単一市町村内に係わる開発関連の発掘調査は、当